

首都圏中央連絡自動車道（大栄JCT～松尾横芝IC）連絡調整会議（第4回） 議事概要

1. 日時

令和8年1月16日（金）10時から11時

2. 出席者

国土交通省 関東地方整備局 千葉国道事務所長 堤 啓

千葉県 県土整備部 道路計画課長 近藤 亮

東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所長 松原 仁

3. 議事

（1）現在の進捗状況について

（2）課題の状況について

（3）今後の開通見込みについて

4. 議事概要

○現在の進捗状況、課題の状況

- ・用地取得率は100%。
- ・前回までの連絡調整会議の4つの課題（用地未取得箇所、芝山トンネルの掘削、重金属の対応及び機能補償道路工事（跨道橋）の入札不調等）については、解決が図られてきている。
- ・用地取得については、全線の用地取得が完了し、各自治体の協力のもと、支障物移設を進めつつ、工事を実施中。
- ・芝山トンネルは、令和7年2月に覆工コンクリートが完了し、設備、舗装工事を実施中。
- ・重金属の対応は完了し、入札不調が発生していた機能補償道路工事（跨道橋）については、すべての工事が完了。
- ・なお、大栄ジャンクション～多古インターチェンジ間の土の性状による盛土の作業能力低下については、改良ヤードや改良機の追加確保を行い、作業能力の回復が図られている。

○今後の開通見込み

- ・前述のとおり課題に対する改善が図られており、引き続き大栄ジャンクション～松尾横芝インターチェンジ間は令和8年度までの開通を目指し、大栄ジャンクション～多古インターチェンジ間は、先行して「令和8年秋頃」開通予定。引き続き、1日も早い開通を目指し工事を進めていく。

○その他

- ・沿線地域では、開通を見越し、新たな開発が計画されるなど、県民や県内の経済団体から開通に対する期待が大きい。
については、開通見込みの確実な達成に向け、引き続き、関係者間で協力するとともに、開通見込みに関わる新たな課題等が発生した場合、速やかに情報共有を図る。